

文芸 小くらわ

短歌

【石瀬短歌会】

百八年凭りかからずに生き給ひし父は
蒼穹の星となりしや

川崎邦子

娘らを待つ母の笑顔に会ひたくて介護
に通ふ日々も楽しい

仁平千代

わが妻は魔女かと思う鼻歌を混ぜて作
れるゴーヤのサラダ

瀧田勇

ハエや蚊も出ない酷暑の夏がきて夫も
われも無口となりぬ

浜野和操

干してある白Tシャツに張り付いてワ
ンポイントとなるにいい蝉は

大久保富美江

記録的暑さに耐える夏野菜にそろそろ
終わりのサインが見ゆる

雨谷友子

そうめんの簡単な茹で方知りてより今
日もそうめん茗荷をそへて

広沢日出子

いんげんの白き小花に夢たくしかすか
な風の音に耳すます

古賀澄

爛漫の花散りたれば青山にとけこむ桜
のごとくありたし

児玉廣子

納屋の軒で育ちしツバメ飛び交いてそ
ろそろ南へ帰りゆくらし

大関登志子

リンリンと虫のかすかな声聞けば秋の
気配す宵の送り火

泉三郎

電線にとまりて鳴きあふるやまぼとが被
災地思ふこころ揺さぶる

鈴木英雄

新しき公民館にひかり差し老若男女の
明日に寄与せむ

久保悦子

戦死せし叔父は天寿の祖母の墓苔むす
上を風がなでゆく

渡辺しな子

出穂の田の面かすめて飛ぶツバメ長旅
まえの訓練なるか

瀧井幸子

闇の街を追はれし同志が逃れ来て集会
に唄うポプデュランのうた

脚注 風にふかれて

小林美瑛子

【一般投稿】

城下町城跡お堀先人を忍ぶ土器真壁城

青木勲

冬近く小松菜の葉が穴だらけこれも撰
理と漬物にする

長堀勉

俚謡

【さくら俚謡会】

自然変遷野菊は見えずどこへ行ったの
赤蜻蛉

山もみじ

数えきれない喜怒哀楽をつるり啜った
ソバの味

花野しぐれ

笑い転げた演芸ホール少し寿命も延び
たかな

みーちゃん

気象災害今年で別れ待つは新年清い春

田哲人

俳句

【一般投稿】

霜月の朝餉のお茶の三杯目

長堀芳江

横臥する龍神山に名月よ

浅賀順子



【茨城県指定】地域リハビリ・ステーション

- ・通所介護（3時間・1日・送迎あり）
- ・居宅介護支援（ケアマネジャー）

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋 寛樹

介護・リハビリの
ご相談や見学

0296-73-6965

桜川市西桜川2-18-5

国道50号沿い マクドナルドさん南側 茨城トヨタさんとなり